平成 29 年度の活動報告

■魅力ルートの環境づくり事業

1) 旧東海道ルート東海道標示サインの整備

(1)二峠六宿道旅推進実行委員会(H27年設立)との連携

- 一昨年度は、国、市の道路管理者、市観光交流課と道路上に設置できる東海道標示サインについての検討会議を8月に実施した。また、各宿場のガイド団体に参加を募り、民地側における東海道標示サイン設置を検討する会議を12月に実施した。
- -今年度は、引き続き「二峠六宿道旅推進実行委員会」との連携を図り、各宿場のガイド団体の参画を依頼し、民間側に東海道標示サインを設置することについて検討する会議を2回実施した。

■検討会議の開催:二峠六宿ブランディング会議(ガイド団体会議)

①第1回会議

<日時・場所>

- 一平成29年年8月17日日(木) 10:00~12:00
- -静岡市産学交流センター 7階会議室

く会議参加者>

宿場名	所属・役職	名前	備考
蒲原宿	木屋江戸資料館 代表	渡邊 俊介	
由比宿	由比観光ボランティアガイド連絡会 会長	古牧 資晟	
興津宿	NPO 法人おきつ 理事長	飯田 英夫	
江尻宿	清水ふるさとガイド研究会 会長	久保田 裕夫	
府中宿	NPO法人静岡案内人「駿府ウェイブ」	原田 一史	
丸子宿	NPO 法人丸子まちづくり協議会 事務局長	三国 俊一	
事務局	NPO法人地域づくりサポートネット	高木 敦子	
	NPO法人地域づくりサポートネット	野尻 めぐみ	





①第2回会議

<日時・場所>

- 一平成29年年12月27日(水) 10:00~12:00
- -静岡市産学交流センター 7階会議室

<会議参加者>

宿場名	所属・役職	名前	備考
蒲原宿	木屋江戸資料館 代表	渡邊 俊介	
由比宿	由比観光ボランティアガイド連絡会 会長	古牧 資晟	
興津宿	NPO 法人おきつ 理事長	飯田 英夫	
江尻宿	清水ふるさとガイド研究会 会長	久保田 裕夫	
府中宿	NPO法人静岡案内人「駿府ウェイブ」H27 年会長	原田 一史	
	NPO法人静岡案内人「駿府ウェイブ」会長	尾関 吉生	
丸子宿	NPO 法人丸子まちづくり協議会 事務局長	三国 俊一	
事務局	NPO法人地域づくりサポートネット	高木 敦子	
	 NPO法人地域づくりサポートネット	野尻 めぐみ	





-2回の会議の話し合い結果以下の事項が確認された。

項目	内容		備考
1.設置する場所	●旧東海道沿道の民地		
	ただし、東海道ルートは静岡県教育委員会が昭和 53-54 年度に行っ		
	た「静岡県歴史の道調査報告書(東海道)」で明らかにしたルートとする。		
	●旧東海道のルート上でわかりにくい場所であり、地図にて表したところ		
	を主におこなっていく(38 か所)		貼付場所は別紙
2.サインデザイ	●H28 年度静岡市が実施した「東海道標示		
ン	基本デザイン制作事業」のデザインにもと		
	づくものとする	(antibella)	
	●標示サインには矢印を入れたものを作成	(JULIANA)	
	する		
	●矢印には「東京」「京都・大阪」の表記をい	東海道	
	れる	Tokaido	

項目	内容	備考
3.大きさ	●基本サインは横・縦の比率は1:1.375 である。8cm、12cmを作	
	成する。	
	●矢印付のサインは横 8cm×16.5cm、12cm×24.75cmの 2 つ	
	のパターンを制作する	
	●貼れる場所によって使い分ける	
4.設置方法	●自治会単位で回覧板等にて周知をしてもらう。シールは	
	1軒ずつお願いに回る。	

く矢印付サイン>

2回の委員会において、旧東海道のルートとサインシール設置場所について検討 した。

- ●オレンジ丸は設置場所
- ●各設置場所については担当宿場を設 定した
- ■市境から蒲原宿西木戸:4ヵ所 担当:蒲原宿

■東名高速道高架下周辺~薩埵峠まで :4ヵ所

担当:由比宿

■薩埵峠(興津側から興津宿):5ヵ所

担当:興津宿









■興津宿すぎて静清バイパス高架下周辺 1ヵ所 担当:興津宿

■細井の松原〜江尻宿西見付:4ヵ所 担当:江尻宿

■江尻宿西見付~県総合運動場駅周辺

:3ヵ所

担当:江尻宿

■県総合運動場駅周辺~

国道1号府中宿東木戸

:7ヵ所 担当府中宿

■江川町交差点~人宿町:5ヵ所

担当:府中宿

■安倍川~宇津ノ谷集落:6ヵ所 担当:丸子宿









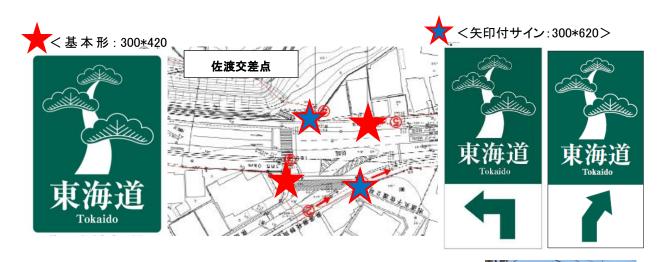
(2)サイン標示シールの制作

シールは 1 か所に基本形サインが 4 枚、矢印付サイン 2 種類は 1 枚として、8 c m 2 1 c m 2 タイプそれぞれを配布予定とし、シールの印刷を 2 回にわけて行った。第 1 回目の印刷の後、できたシールをそれぞれの宿場に送り確認を行ったのち、増加する場合の枚数を募った。

基本形		矢印 東京~京都·大阪	矢印 京都・大阪~東京	
8×16.5cm	170	80	80	
12×24.8cm	170	80	80	
合 計	340	160	160	

(3)静岡国道事務所の路面サイン整備実験

本エリアは平成21年に国土交通省が進める日本風景街道に『東海道「駿河2峠6宿風景街道」』 として登録されている。そのため、風景街道の活用・広報の強化に向けた事業として、旧東海 道のルートが分かりにくいという現状を解消するため、ルート上における標示サインの設置実 験を国道1号駿河区佐渡交差点にて静岡国道事務所が行った。



平成30年3月1日(木)に現場での確認を行った。

<参加者>





①横断歩道前:矢印付東海道サイン 整備前



①横断歩道前:矢印付東海道サイン 整備後



②矢印サイン手前 10m:基本形サイン 整備前



②矢印サイン手前 10m:基本形サイン整備後



③横断歩道後:基本形サイン 整備前



③横断歩道後:基本形サイン 整備前



④まかり角矢印サイン 整備前



④まかり角矢印サイン 整備後



■支柱貼付整備前:ガードパイプ柵と照明支柱



■支柱貼付整備前:ガードバイプ柵と照明支柱

■東海道2峠6宿情報発信事業

1)解説マップの増刷

- 解説マップを増刷した。増刷したものはその大部分を地元の協議会メンバーの協力を得て、 保管、配布してもらっている。

■興津宿:200部 ■蒲原宿:5千部

6 宿 (マップ 10 種類)	増刷年	部数	主なマップ置き場所
蒲原宿(片面)	平成 29 年	5千部	サポートネット
由比宿+薩埵峠	平成 28 年	1 万部	ふれあい由比
興津宿+薩埵峠	平成 29 年	200部	サポートネット
江尻宿(宿場編) +江尻宿(港編)	平成 28 年	5 千部	次郎長生家
府中宿(宿場編)+府中宿(城下編)	平成 28 年	3 千部	サポートネット
丸子宿+宇津ノ谷峠	平成 28 年	1万部	丸子まちづくり協議会

2) パスポート冊子の募金について

- -27 年度に印刷した 2 峠 6 宿冊子 2000 部は、各宿場の協議会メンバーまたは宿場を支える団体の活動場所においてある。
- ー冊子希望者には 200 円以上の募金をお願いしており、事務局費用として 100 円、それ以上 の金額はそれぞれの活動団体の運営費としている。
- -145 冊を提供することができた。

3) 遊びにおいでよ! 宇津ノ谷

- 一中世の道から現代の道までが現存する道のエコミュージアムの宇津ノ谷の発信事業として今回で7回目となる。
- -平成28年度以降、宇津ノ谷倶楽部、丸子まちづくり協議会が主催者となり、宇津ノ谷まちづくり協議会とともに実施した。地域色豊かな催しが多く実施された。
- -地元主催「宇津ノ谷味覚まつり」、二峠六宿道旅推 進実行委員会主催「峠路てくてくウォーク」藤枝市 と静岡市共催の「宇津ノ谷ウォーク」などが同時開 催されている。

■日時:平成29年11月12日(日)10:00~ <実施内容>

①寸劇 秀吉陣羽織の伝説再現

②講演:峠の地蔵堂伝説 ③丸子幼稚園年少組合唱 ■チラシ: 1200 部印刷



4) ホームページの修正

- 駿河歩人 http://suruga-aind.com/
 では、各宿場で配布しているマップ
 がダウンロードできるようになっている。そのマップを最新のものにした。
- -二峠六宿道旅推進実行委員会が文化 庁の補助金を得て制作した薩埵峠 と宇津ノ谷峠の魅力発信映像とパ ンフレットを見られるようにした。

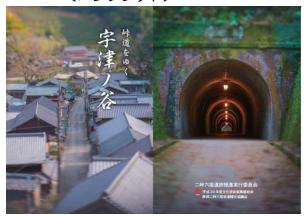




5) その他関連事業

二峠六宿道旅推進実行委員会では文化庁、文化遺産総合活用推進事業に採択された。この委員会の構成員であり、事業提案を行った本協議会では、宇津ノ谷峠、薩埵峠の 2 か所にて映像とパンフレットを制作し、ユーチューブ等にて発信している。

<パンフレット>





<QRコードチラシ>

